

アガパンサス

2017 年 5 月 21 日

発行 東海教区女性会

発行責任者 櫻井國江

印刷 アド・アール(株)

神の愛に生かされて ～励まし合い、互いの向上に努める～

主題聖句 心を新たにしてお返しをさせていただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ、また完全なことであることをわきまえるようになりなさい。

ローマの信徒への手紙 12 章 2 節より

【巻頭言】



自分自身を愛するように

なごや希望教会牧師 末竹十大

「もし、他の掟が何かあろうとも、この言のうちに要約されている。あなたがたは愛しなさい、あなたの隣人を、あなた自身のようにと」(ローマ 13:9 私訳) とパウロは言う。「隣人を愛する」ことが掟の要約である。しかも、「あなた自身のように」と言われているが、真実に自分を愛している者がどれだけいるであろうか。

我々は自分が愛せる自分を愛するものである。自分が愛せない自分は、人に評価されない自分。我々が好むのは、自分にとって好ましい自分。この論理で、他者を見る時、「自分を愛せないように、隣人を愛せない」ということになる。ここに人間の罪の問題がある。

真実に自分自身を愛するとは神が造り給い、維持し、愛してくださる自分自身を愛することである。能力の差は他者と比べればあるであろう。できないことも多くあるであろう。体も魂も弱いかも知れない。それでも自分を愛するのか。自分が愛せない部分がなくなれば完全に自分を愛せるのであろうか。

情けない自分を愛することは、わたしが愛せないわたしを愛するお方がおられることを根拠として愛するのである。それは自分の弱さを受け入れることである。パウロが聞いたキリストの言葉のように「十分である、あなたに、わたしの恵みは。何故なら、(神の可能とする)力は、弱さにおいて、完了してしまっているから。」(2 コリント 12:9 私訳) という自分を受け入れることである。弱さにおいて完了してしまっている神の力を信頼するとき、我々は弱くとも完了している神の力によって愛されている者である自分を生きるのである。そして、他者の弱さを担う愛に導かれる。

ここに立つ者には「自分自身のように隣人を愛すること」が可能となるのである。あなたが自分の真実の姿を神の前にさらして、神の愛を全面的に受け入れるとき、あなたは隣人を自分自身のように愛することへと導かれるであろう。あなたを愛するお方の可能とする力によって。

すべてを受け入れ
はぐくんでくださる神のもとで



女性会は今 《5》



栄光教会 磯枝・島田礼拝堂女性会



賜の分かち合い

福知美知子

私たち女性会では、毎月の女性会の際に連盟聖書研究の学びをした後に、姉妹方の持っている賜を皆さんに分かち合う親睦のときを持っています。三月の女性会では一人の姉妹が「語りべ」として民話を話してくださいました。聖書のみ言葉を学ぶことは大切な事ですが、その後の親睦の時も大切な事と思っています。過去、お花のアレンジメント、リンパマッサージ、お料理等々。共に交わることのできる女性会は、教会生活の一環として位置づけられています。

去、お花のアレンジメント、リンパマッサージ、お料理等々。共に交わることのできる女性会は、教会生活の一環として位置づけられています。

神様の御心を求めながら

川村千代江

教区女性会だより「アガパンサス」や女性会連盟の会報は、全国の女性会のみなさまの活動の様子を知ることができます。そして私たちの献金は、女性会連盟を通して信仰の継承を担っていく子ども達や海外の神学校支援の為にも使われています。

今、女性会は会員が減少していますが、全国に仲間がいて、大きな働きをしていることに思いを馳せ、神様の御心を求めながら活動して行けたらと思っています。



繋がり

高島洋子

菊川礼拝所の桜が、例年より 10 日程遅れて咲き始めました。私は 1984 年に受洗してからずっと女性会に入っています。歳はもう 70 代になりました。横田牧師から明比牧師に代わり一年が過ぎました。このシャロンの会（女性会）が多くの方と交わり繋がっていること、そしてその中心にいて下さるイエスさまに本当に感謝です。これからもシャロンの会での聖書の学び、いろいろな活動のお手伝いをしてゆけたらと思っています。



掛川菊川教会 シャロンの会

ずっと続くことを願っています

中嶋宣子

掛川菊川教会女性会は、人数は多くありませんが、山内浩子会長の指揮のもと行事のほとんどをたずさわっています。

以前はバザーもやっていましたが、今はバザーの時代でなく終りとなりました。クリスマスをはじめ多くの行事やコンサートは楽しく行なわれます。ささやかな会ですが、ずっと続くことを願っています。



復活教会女性会



私が復活教会女性会最年少者です

服部典子

今年の復活祭は、17歳の時に故宝珠山牧師から洗礼を受けていただいて40回目の復活祭であった。いつの間になんな月日が流れたのかと感慨深い思いに浸った。

私には姉妹がない。だから女性の生き方モデルは祖母、母、姑、叔母や従姉妹、友達。そんな状況の中、女性会員の方々は女性として人間として魅力的な方々がたくさん。御交わりの中で女性の信仰者としての在り方を学ばせていただいているように思う。感謝。



40年ほど前は

大岡よし江

今から40年程前、婦人会のメンバーの大部分は専業主婦だったと思います。私は東海教区の数人の仲間と共に、花の30代などと言い、連盟総大会、教区の集会等に参加し、盛り上がっていました。私の教会では、長く婦人会と言ってきましたが時代の流れに従い女性会になりました。仕事を持つ女性が増え、既婚の専業主婦の会ではなく教会の女性全員で会を盛り上げて行くのが良い事です。分かってはいても現状維持がやっとと言うところです。



孝母教会女性会

喜びの時

本田聡子



礼拝や女性会の時間は、神様と共に歩んで来られた先輩方と、私も共に過ごさせてもらうことのできる尊い時間。信仰を重ねられ、神様が内におられるということは、心の平安をその人から感じさせてもらうことができ、心の豊かさを先輩方より教えてもらっています。神様を信じることによって与えられる心の強さと優しさと穏やかさ。そんな先輩方を目標に神様を信頼して集わせていただきたいと思います。



実家へ帰ったような楽しさ

柘植幸子

毎週の礼拝に教会へ来て、親しい方々と礼拝後にゆっくりお話するのを楽しみにしています。そんな時に女性会の会員の方が、自発的にお茶を運んでくださいます。楽しい語らいの時に、自宅の茶の間にいるような気分で、ゆっくりお茶を頂きます。もう、今は既に無くなった実家へ帰ったような気持ちがします。そんな楽しい時を与えてくださる女性会の皆様には、本当に感謝しています。

2017年3月11日 於 大垣教会

第5回女性会の集い

参加者 約 80 名



青木有加さん

午前 開会礼拝 〈司式説教〉 齋藤幸二牧師
講演：青木有加さん「信仰と憲法」

午後 ミニコンサート
ヴァイオリン：松宮ひびきさん
伴奏：岩田智子さん

質疑応答

閉会礼拝 〈司式説教〉 秋久 潤牧師



青木有加弁護士のお話をお聴きして

名古屋めぐみ教会 藤原 薫

日ごろ「信仰」と「憲法」を結び付けて深く考えることがないので、その二つを青木さんがどのように結び付けてお話してくださるのか興味と関心を持って傾聴しました。

青木さんはまず「弁護士は神様から頂いた仕事。イエス様は、この世で弱者といわれる人々を救うためにお生まれになった。私も弁護士として御心にかなう働きがしたい。」とクリスチャン弁護士としての立場を明確にされました。その後「憲法とは何か」というお話を、私のような高齢者にも理解しやすいように丁寧に熱意を込めてお話して下さいました。一時間半の短い講演時間では到底カバーできない大きなテーマでしたが、その中で「憲法は基本的人権の保障のために存在し、基本的人権は神様から私達人間に与えられた権利。だから、憲法を守ることは神様の御心である」と青木さんが強調されたところがありました。そこに「信仰と憲法」の結びつきがあることに気づかされ、このメッセージを身近な人達と共有したいという思いでいっぱいになりました。

地の塩 世の光としての役割

大垣教会 大場弘子

3月のまだ寒い時期に大垣教会に多くの姉妹が集められ、教区女性会の集いが開催されたことに感謝します。

青木有加氏による信仰と憲法の学びについて、戦争中には人権が侵害され、その反省から憲法を作って守っていかうとした歴史がある事や、憲法のベースに聖書がある事を知り、子どもを真ん中に立たせ（マルコ 9 章）、後から来た人にも同じ賃金を（マタイ 20 章）、百匹の羊（マタイ 18 章）などの箇所が浮かび、確かに神様は一人の存在をかけがえのない存在と認めすべての人を愛しておられ、十字架にかかれたのだと再認識しました。神様の人間への深い愛を憲法を通して教えられ感謝しました。

しかし、戦後 70 年たって戦争放棄の国から戦争をやってもいい国に変えようとする動きがあり、私達に地の塩、世の光としての役割が問われているのだと思いました。

その後のヴァイオリンコンサートもとても素晴らしく、幸せな時間を過ごせました。

第 5 回女性会の集いに参加して

富士教会 杉澤紀久子

春の柔らかな日差しを受けて、輝くステンドグラスのイエス様に、見守られながらの女性会でした。75 名以上の方が集い、久しぶりの楽しい会話、皆んなで歌う賛美歌、美しく力強い歌声が、教会中に響きわたり仲間と礼拝できた喜びを感じました。

講演は「信仰と憲法」という題で、青木有加さんが講演して下さいました。大変重要な事柄なのに、自分の臆気な知識に愕然とし、改めて勉強する機会を、与えて下さいました。日本国憲法と自民党草案の違い、それがどの様に解釈されて、私達に関わって来るのか、もう少し詳しくお聴きできたらと思いました。

午後は岩田さんのピアノ伴奏で、松宮さんのヴァイオリン演奏、お二人の呼吸の合った演奏、美しい弦の調べに、心和むひとときでした。最後に、この会を企画して下さった役員の方、大垣教会の皆様に、心より感謝致します。



齋藤幸二牧師



松宮ひびきさん

岩田智子さん



秋久 潤牧師

笑いあえる場、それが教区女性会

栄光教会焼津礼拝堂 菅野君江

私達日本人は、日々憲法に守られ、守り、安全・安心の生活をしています。日常の中で、意識しあらためて考えることの少ない憲法について知る学びの時でした。教会に帰って女性会で伝えることは、分からない事が多く難しいですが、思いもよらない時間が与えられたことを感謝しています。

ミニコンサートは、至福のひとときでした。このために準備し演奏して下さった方、ありがとうございました。これからもこのような楽しいコンサートを続けて欲しいです。

各教会、持っている課題は共通のものがあります。祈りつつ、働き人としての顔、顔。再会に声を出して笑いあえる場、それが教区女性会です。

新しい会堂の大垣教会と隣接する「あゆみの家」。長い間の互いの歩みを神様は今日も喜んでおられると見てきました。どんこ（しいたけ）、大変、おいしく頂きました。



青木有加さんの講演会 DVD (PC で音声を開ける・送料込み 200 円) を、ご希望の方におわけします。(問合先：HP 上では略)

ルターの結婚と家庭 - 5 -

大垣教会・岐阜教会牧師 齋藤幸二

ルターはとても子煩悩で、子供と遊んでいる時が一番楽しかったようです。時には忙しい妻カタリナに代わって子供のおむつも替えたそうです。ルターは子供たちに、天の父に信頼する神の子の姿を見ていたのです。

ルターの家庭はよく歌う家庭でした。

「天よりくだりてうれしきおとずれ」（教会讃美歌 23 番）はこの家庭で生まれたクリスマスの讃美歌です。

またルターは家庭での信仰教育のために「小教理問答書」を書きました。ここにもルターの家庭



The Luther Family

の背景がありました。父親につきまとう長男ハンスを見て、成長してゆくこの子のためにも、家庭でこどもたちに信仰を伝える書物が必要だと考えたのです。

こうしてルターが結婚し、家庭を持ったおかげで私たちにも多くの恩恵が残されています。

ルターにとって、妻や子供は何にも代えがたい宝でした。そしてその大切な子供を失うという悲しみも味わっています。「わが妻子（つまこ）も、わが宝も取らば取りね。神の国はなおわれのものぞ」（教会讃美歌 450 番）と歌ったルターは、妻や子を決して軽く見ていたのではなく、むしろ「私にとって何よりも大切なものであっても」と、家族への深い愛情を告白しているのです。

学び
深めよう！

1517年

2017年

ルターの宗教改革から 500 年

集い
伝えよう！

この時にめぐりあわせたことを感謝して



東海教区
伝道セミナー
【3回シリーズ】

1回 or 2回の参加も OK ☆ [テキスト作成中]

第1回 ルターが再発見した「福音」とは

6月10日（土） 14:00～16:00 於名古屋めぐみ教会

6月24日（土） 14:00～16:00 於静岡教会ひかり礼拝所

第2回 福音に生き、福音を伝える教会

8月19日（土） 10:30～15:00 於浜松教会 講師：江藤直純牧師

第3回 福音を伝える教会～信徒説教 奨励 証しについて～

10月14日（土） 14:00～16:00 於名古屋めぐみ教会

10月28日（土） 14:00～16:00 於静岡教会ひかり礼拝所

11月3日（金祝） 宗教改革 500 年記念大会

於金城学院大学

講師：鈴木 浩牧師



聖書の中の女性たち【その5】

「家の教会の女性たち」

栄光教会牧師 内藤文子

初代キリスト者たちにおける「家の教会」の重要性は、従来あまり十分に認識されていなかったが、初代の状況を注目するにあたり注目されるようになったと私は感じる。新約聖書で「家」をさすギリシャ語は「オイコス」または、「オイキア」である。「オイコス」は新約聖書で100回以上、オイキアは6回使われている。その意味は「家、家屋、家族、神殿、宮」。

家の教会の特徴は、一般の住居よりも、より広く快適さを備えていた。比較的経済に余裕のあったキリスト者の家である。ローマ式の建築方法で2~3階建て。10~40人入ったのでは。ローマに散在していたユダヤ教のシナゴグ（「家の会堂」と呼ばれる）との類似性を持っていた。

「家の教会」のメンバー構成は、それぞれの場所によってさまざまであるが、そこでは人々の身分や出身が区別されずいかなる人に対しても集会は解放されていた。ユダヤ人と異邦人、自由市民と奴隷、男と女、身分の高い者と低い者、教養のある者とない者といった、社会的・民族的あるいは宗教的垣根が取り払われ、すべての人が主イエスに結びつけられた。

新約聖書の家の教会の女性たちの注目すべき人物としては、使徒言行録18:2、18、26のプリスキラ（夫・アキラ）はどこに移住した時にも「彼らの家の教会」を創設して、伝道者パウロの手伝いをしている。また最後の晩餐の「二階の広間」（マルコ14:15）と、復活後弟子たちが集まっていた「家の上の部屋」（使徒言行録1:13）の女主人は、マルコと呼ばれるヨハネの母マリア（使徒言行録12:12）である。

家の教会で女性たちは、大切な役割を果たしていた。

女性会連盟総・大会 名古屋で開催 2018年6月7日~8日(予定)

今回の連盟総・大会が東海教区で開催されることが決まったのが2015年。連盟と教区女性会とで大筋の計画を進めてまいりました。いよいよ現地実行委員会を立ち上げ、詳細を決めていく段階に入ります。

現地実行委員を名古屋市内の女性会の姉妹方（下記）にお受けいただき、心より感謝申し上げます。今後、当該3女性会の皆様をはじめ教区内の各女性会・教職の皆様方のお力添えが是非とも必要です。神様と全国の皆様に喜んでいただけるような恵みあふれる大会となりますようお祈りとお協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

現地実行委員会

氏名	教会	氏名	教会	現教区役員
鈴木貴美子	名古屋めぐみ	芳賀美江	小鹿	連盟(会長)
神崎悦子	名古屋めぐみ	櫻井國江	栄光	教区会長
嶋 昭江	なごや希望	田口和子	大垣	副会長
伊藤由紀子	なごや希望	小谷由美子	富士	書記
服部典子	復活	堀 育美	なごや希望	会計

デンマーク牧場

グリーンスフェア

5 月 3 日

教区女性会で出店



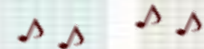
4月29日の“わいわいワーク”により、きれいにされたデンマーク牧場で、恒例のグリーンスフェアがにぎやかに開催されました。思いをこめて作っていただいた手芸品、クッキー、ケーキ、ちらし寿司弁当など献品していただきありがとうございました。食品類は完売でした。

今年もテントやテーブルを『特養 ディアコニア』でお借りし、(そのかわり〜というわけでもないのですが) 広報チラシ (<http://kun.veritas.jp/agapa1.html>) を私たち女性会の所に置きました。『特養 ディアコニア』の素晴らしさをもっと広く多くの人たちに知っていただきたいと心より願っています。売り上げの41,610円は、福祉村募金(注)にお捧げしました。



うちの教会の自慢

エルピスハンドベルクワイア



◆ なごや希望教会 ◆



なごや希望教会は2017年にひとつの礼拝所になりました。名古屋教会、希望教会、名東教会であった時からそれぞれがハンドチャイムを所持していましたが、2015年の宣教100周年での演奏を目標に2014年にエルピスハンドベルクワイアを結成しました。「エルピス」は「希望」という意味です。記念の曲は「神はわがやぐら」、エルピスのために編曲して頂きました。記念礼拝でのデビュー演奏は、大変好評でした。メンバーは教会員、求道者、附属幼稚園の教職員です。神様の導きによって集められた私たちはハンドベルで神様を讃美する練習の時間を大切に楽しく過ごしています。



第6回 女性会の集い

ぜひ ご予約ください!

2017年 **9月16日** (土) 10時半~15時場所: 浜松教会

[講演] 平岡 仁子牧師

(日本福音ルーテル保谷教会・日本ルーテル神学校専任講師)

『 女性たちの宗教改革500年 』

今年はルターの宗教改革から500年という記念すべき年。各教会、地区、教区、全国で、学びをはじめとして、様々な計画がされています。出かけていけば、きっと豊かな恵みをいただけたと思います。

第6回「女性会の集い」は、今期最後の集いとなります。9/16に浜松でお会いしましょう♪ (役員一同)

(注)

福祉村募金とは

東海教区女性会から声があがり、2003年デンマーク牧場に特別養護老人ホーム「ディアコニア」が創立されました。キリスト教の精神に基づいたサービスを行う施設として東海教区が母体となるためには自己資金が必要でした。

1994年から福祉村募金が始められていましたが、創立時の自己資金が不足していました。その額、1億4,350万円。当時、教区では協議を重ね、教区債の発行（1,850万円）や教区の老朽化対策基金（600万円）を繰り入れ、本教会より1億1,900万円を借り入れることを決断したのです。借り入れたからには、待っているのは返済です。返済計画では、今年度も年間800万円。残額は4,880万円になりました。

「ディアコニア」では、チャプレンや教会員などによる朝礼拝が行われ、職員の方々が愛をもって利用者の皆様のために働かれ喜ばれています。

東海教区『福祉村募金』は、一部の会員だけでなく、おひとりおひとりのお祈りとご支援が求められています。実情を理解していただいている全国女性会連盟、他教区の教会、教会付属の施設や各女性会からも募金を送っていただいています。年間募金額は減少し続けています。東海教区女性会では、いろいろな機会を通して思いを現わしていきたいと願っています。

〈文責：東海教区女性会会長・東海教区福祉村委員会会計 櫻井國江（栄光教会）〉